

## 2024-2025 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 8月

作成者：若原きなり  
作成日：2024年9月8日

皆様、初めまして。この度、2024年福井県奨学生としてフィンドレー大学に留学させていただいております若原きなりと申します。このような貴重な機会をいただけたこと、心から感謝申し上げます。留学にあたり、多くの方々からのご支援や激励の言葉をいただきました。この機会を最大限に活かし、実り多い留学生活を送るため、日々努力して参ります。

【自己紹介】 私は福井県鯖江市出身で、現在福井大学医学部の4年生です。これまで福井県以外での生活経験はなく、今回が初めての福井県外での長期滞在となります。小児科に興味があり、この留学を通じて将来に繋がる学びを得たいと考えています。鯖江市や越前市では多くの外国の方々がいらっしゃるため、英語力の向上や他文化への理解を深めることが重要だと感じています。また、幼少期から映画や音楽に影響を受け、海外文化に興味を持っていたため、留学を通じて多くの経験を得たく、このプログラムに応募しました。

【フィンドレー大学での生活】 フィンドレーは福井県と変わらないほど治安が良いと感じています。キャンパス内は花や草木が溢れ、リスやウサギをよく見かけるのどかな雰囲気です。私は一軒家をシェアするグループハウスに住んでおり、日本人3人を含む8人で共同生活をしています。留学にあたって最大の懸念だった食事についても問題なく、ミールプランを利用して食堂でのバイキング形式の食事を楽しんでいます。また、日本食が好きな友人たちが丼や餃子などを振舞ってくれることに感謝しています。



【バースデーパーティー】 到着して約2週間後に誕生日を迎え、たくさんの方にお祝いしていただきました。13時間の時差のおかげで、日本から誕生日前日にお祝いメッセージをいただき、前日から誕生日気分を楽しむことができました。朝起きると、ハウスメイトが家中をデコレーションしてくれていました。昼は学校内の教会での昼食会に参加し、バースデーケーキが突然出てきて驚きました。夕食時にはバースデーパーティーが開かれ、約20人の友人たちが集まり、大人数のパーティーとなりました。全員分の親子丼や味噌汁を作ってくれた友人に感謝しています。最後に家でも改めてパーティーを開いてもらい、大きなケーキやプレゼントをもらいました。アメリカでは小さめとのことですが、ケーキの大きさには驚きました。多くの方々に祝っていただき、最高の誕生日を迎えることができました。



【County Fair】 County Fairは年に一度開かれる、主に農作物や畜産物の祭典です。各畜産農家が様々な動物を披露し、ヤギのレースや着せ替えショーなどもあります。英語を母国語としない生徒向けのライティングクラスの先生がアメリカの文化を知る良い機会ということで授業後にこのフェアに行くイベントを企画してくださり、先生とクラスメイトで訪れました。たくさんの鶏、牛、馬、豚、ウサギなどの動物を間近で見ることができ、引率してくださった先生の家は畜産農家で、先生のヤギも見ました。その中の白いヤギは「Snow White（白雪姫）」という名前でもとても可愛かったです。また、出店や特設の遊園地もあり、ユニークなスナックとしてバターやオレオを揚げたものもありました。クラスメイトとの親睦も深まり、楽しいお出かけとなりました。



まだこちらに来て1ヶ月も経っていませんが、既にたくさんの友人や先生方に恵まれ、多くの経験ができています。留学に来ることができて本当に良かったと思っています。残りの生活も充実したものとなるよう努めます。

本報告書についてご質問、お問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

wakaharak@findlay.edu